

## ひとり親家庭等医療費助成(県親)の受給者証をお届けします

対象の人には、9月下旬に新しい受給者証を郵送します。10月からは新しい受給者証をお使いください。対象であっても、所得制限により助成を受けられない場合は、申請却下通知書を郵送します。

### 次の条件すべてに該当する人

- 1 燕市に住所があるひとり親家庭の児童と、扶養している父、母または養育者（父または母が重度の障がいの状態にある配偶者と児童も含む）
- 2 ひとり親家庭等医療費助成を申請または受給している
- 3 医療保険の被保険者または被扶養者である
- 4 生活保護を受けていない

※条件を満たしているが、まだ一度も申請をしていない人は、お問い合わせください。

### 受給者証の有効期間

10月1日(日)～令和6年9月30日(月)まで  
 ※児童が今年度中に満18歳になる場合は、令和6年3月31日(日)まで／一定の障がいがある児童が今年度中に満20歳になる場合は、誕生日の前日まで

### 10月診療分から入院医療費助成の助成方法が変わります

医療費助成の拡充により、令和5年4月診療分から18歳までの子どもの入院費が無料になりました。助成を受けるには市役所で助成金の申請が必要でしたが、10月診療分からは保険証と受給者証を医療機関に提示することで、窓口での入院費の保険診療分の支払いがなくなります（令和5年4月～9月診療分までは、保険年金課の窓口で助成金の申請をしてください）。

☎ 保険年金課 年金医療係  
 ☎ 0256・77・8133

## 健康・福祉

### 10月は骨髄バンク推進月間です

一人でも多くの血液疾患患者を救うため、ご理解とご協力をお願いします。

市では、骨髄移植推進団体が実施する移植手術の骨髄・末梢血幹細胞の提供者（ドナー）となった市民を対象に、奨励金を交付しています。詳しくは市ホームページをご確認ください。

☎ 健康づくり課 健康推進係  
 ☎ 0256・77・8182

骨髄移植ドナーへの支援事業のページ



### 燕市国民健康保険人間ドック

今年度の「燕市国民健康保険人間ドック」を申し込みました人で、まだ検診機関に日時の予約をしていない人は、ご自分で早めに予約をしてください。市から受診票が届く前でも予約ができます。

申し込みをしていない人

## 妊活応援セミナー

時 11月12日(日) 午後1時30分～3時  
 所 保健センター  
 対 市内に在住または在勤の妊娠を希望する人、不妊に悩んでいる人、不妊治療を始めようと思っている人、不妊治療について学びたい人など  
 定 30人 ※先着順  
 内 講演：妊活に大切な身体づくりについて、不妊になる原因、不妊治療についてなど…講師：高田杏奈さん（県立吉田病院 産婦人科非常勤医師）  
 申 11月6日(月)までに電話か申込書をファクス、申込フォームにて



☎ 保健センター  
 (子育て応援課 母子保健チーム)  
 ☎ 0256・92・6815  
 FAX 0256・93・5463



## ファミリー・サポート・センター研修会

### ●スマホやタブレットが子どもの成長に与える影響を考える

普段の生活の中で思わず与えてしまう便利なものについて、あらためて考えてみましょう。

時 11月1日(休) 午後1時30分～3時30分

所 燕市民交流センター

他 講師：佐藤昌子さん（佐藤内科小児科医院 副院長）

■無料保育ルーム 先着5人、申込は10月25日(休)まで

### ●アレルギーや小児の看護について

子どもが病気の時の対応や、スキンケアの方法などを学びます。

時 11月14日(火) 午前10時～正午

所 燕市民交流センター

他 講師：長谷川恵子さん（県立吉田病院 小児アレルギーエドクター）

■無料保育ルーム 先着5人、申込は11月7日(火)まで

対 市内在住・在勤の人  
 申 電話か申込フォームにて  
 問 ファミリー・サポート・センター  
 ☎ 0256・77・8550

申込フォーム



### 県央地域 総合相談会

生活上のさまざまな困難や悩みを抱えている人を対象とした相談会です。弁護士、社会保険労務士、薬剤師、保健師、ケアマネージャー、ハローワーク相談員、精神保健福祉相談員などの専門職が、無料で相談に応じます。

時 11月1日(火) 午前11時～午後4時 (受付：午後3時まで) ※完全予約制 所 吉田産業会館 申 10月20日(金) 午後5時まで 問 保健センター ☎ 0256・93・5461 または、三条地域振興局 地域保健課 ☎ 0256・36・363



など ☎ アビリティ燕 ☎ 0256・66・0003

